

【資料 4-4】基礎学力不足の学部学生への配慮

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

項目・内容	全学共通教育			具体例	学部教育			具体例
	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	
基礎学力不足を前提とした授業	3	5			2	1		
講義内対応 学力把握とそれに対応した教材と教授法の選定	2	7	10	・補講 ・基礎的内容からの授業展開 ・基礎からの詳細な解説 ・学生間での教え合い学習	2	10	4	・基本からの詳細な解説
予習・復習の徹底	2					1		
その他				・質問時間の確保 ・机間巡回の充実 ・レポート作成方法の詳細説明 (講義1回)				・質問 (質問用紙) の受付、即回答 ・発展的な内容に触れる際にはそのことを明言
授業補助 書籍・文献等の紹介	5	1	4	・基礎的文献の提示	5	2	5	
課題の提示	4	1			1	1		
教材開発	1							
受講者への対応 質問等への個別対応 対応時間の設定 (オフィスアワー等)	5	6	7	・添削時のコメント ・対話時間の確保 ・オフィスアワーの活用	4	8	6	・面談 ・オフィスアワーの活用
TAの活用	1				1	1		
学習進捗状況の把握	1				2	1		
その他				・関連講義の紹介				・日常的な指導 ・大学院生とベアにした学習

【資料 4-5】研究教育上の目的やディプロマ・ポリシーを意識した学習方法の工夫・成績評価の観点 (基準)

(教員アンケート 2017(H29)年7月実施)

【総合人間学部】

項目	学習方法の工夫	成績評価の観点
幅広い知識、多角的視点、柔軟な発想	・幅広い視点における思考力の育成を重視 (4) ・文理融合複眼的視座に立った履修の指導 ・他の専門分野の戦略的な学習を促す ・幅広い分野の参考文献書籍の紹介 ・多専攻生の受入	・多角的視点、柔軟な発想 ・幅広い視点 ・批判的思考
プレゼンテーション能力、対話力、リーダーシップ	・発表・討論の重視 (3) ・発表の独創性の育成 ・対話能力の育成 ・対話型授業 ・学生から現代的問題の提示させ、議論する	・発表の重視 (4) ・討論の重視 (5) ・発表の論理構成の明確さ、議論の質、対話能力
専門性	・レポート課題 (2) ・検索能力の構築 ・問題意識の明確化を促す ・重要点に関する質問をすることで、思考力の育成 ・レポートの丁寧な添削 ・参考文献の紹介	・独創性 (3: 研究課題、着眼点) ・独自の問題関心 ・問題提起から解決までの過程における論理的一貫性 ・説得力・論理性・明解性
挑戦する創造的姿勢、持続力	・持続的な学修を促すための教材の工夫や助言 ・学習者一人ひとりの学習目的や動機づけを重視した授業展開	・持続的な取組 (3) ・資料の準備の程度

【人間・環境学研究科】

項目	学習方法の工夫	成績評価の観点
幅広い知識、複眼的思考	・文理双方の視点の修得 ・幅広い視点における思考力の育成 ・広範な領域の勉学の奨励 ・幅広い分野の文献・書籍の紹介 ・他の専門分野の履修を促す	・幅広い視点 ・批判的思考 ・個別領域に留まらない総合的な理解力
問題解決の企画力	・問題解決型課題を提示 ・研究課題を自ら設定し、解決方法を集団で議論させる ・学生から現代的問題を提示させ、議論する ・現代社会の諸問題に対する、総合的、実践的な理解の促進	・問題解決のための実践的な能力
高度な研究能力	・問題意識を明確化させる ・発表の重視 (4) 例：発表資料の事前準備、時間内での要点整理、着眼点説明をさせる ・議論の重視 (6) 例：問題提起能力の育成を図る ・参考文献の紹介	・論理性 (3) ・発表の重視 (5) ・討論の重視 (5) 例：議論の質
着想の独創性	・自身による問題設定 ・自習資料の提供 ・学生各自の学習目的の重視	・独創性 (3)
持続的努力		・課題への対応 (2) ・実験に取り組む姿勢 ・資料収集能力 ・意見・質問による授業への参加状況